

## 式辞

春爛漫、桜花咲き誇り、  
若葉の光も、一段とさわやかさを増し、  
新入生のみなさんをも、心から、  
歓迎してくれています。

公私何かとお忙しいところ、  
多数のご来賓のみな様、  
そして保護者のみな様のご  
臨席をいただき、二〇一  
六・平成二八年度、七二期  
生の入学式を挙行できます

こと、心から感謝し、厚く  
お礼申しあげます。

さて、新入生のみなさん、  
入学おめでとう。

今日から伝統ある住吉中  
学校の生徒です。

「児童」から「生徒」へと  
呼び名も変わりました。

この呼び名の変化は、みな  
さんが一歩、大人に近づい  
たことを自覚してほしいと  
いう願いが込められていま  
す。

今、壇上からみなさんの顔を見ていると、どの人の目も清らかに澄み、「さあやるぞ」という強い意思が伝わってきてきます。

その目が語っている今のみなさんの心の姿を「初心」と言います。

どうかその初心を大切にしっかりと前を見つめて中学校生活をまっすぐに進めてください。

本校入学を契機として、

新しい自分を探す旅の始まりです。

中学の3年間を、実りあるものにするために、一日一日を大切に過ごして欲しいと願っています。

そこで、入学に当たり二つのことを

お話したいと思います。

一つ目は、朝顔の花についてのお話です。

朝顔はどんな条件がそろったときに花が咲くか知

っていますか。

先生も、朝温かい太陽の光を受けて咲くと思っていました。

しかし、24時間、温かい光を当てていた朝顔のつぼみは、開花することはありません。朝顔の花が咲くには、温かい太陽の光を浴びる前に、暗い夜の冷たさが必要なのです。みなさんの人生もこれと同じです。

立派な花を咲かせるには、  
苦しく、つらい夜の冷たさ  
のような時期も必要なの  
です。

中学入学後、みなさんに  
は楽しいことだけでなく、  
しんどいこと、つらいこと、  
我慢しなければならぬ  
こともたくさんあります。  
楽しみにしている部活動  
も苦しい練習に耐えてこ  
そ「勝つ」喜びが得られま  
す。

勉強も同じです。

みなさんはこの時代に  
生まれてきました。みなさ  
んが生まれてきたという  
ことは、みなさんにしかで  
きない何かがあるからな  
のです。

そのみなさんが持ってい  
る素晴らしい才能をつぼ  
みのまままで終わらせない  
ためにも、しんどいこと、  
嫌なことから逃げずに頑  
張ってほしいと思います。

困難は、それに耐えることのできる人にだけ与えられるのです。

2つ目は、君たちの顔がひとり一人、違うように、考え方や、体つきも違っています。

体の丈夫な人・障害のある人・力の強い人・弱い人、いろいろな、個性のある人が集まって、学習するところですが、この住吉中学校です。相手のことを考え、行動



できる生徒に育ってほしい  
と願っています。

「互いの個性を尊重し、違  
いを認め合う集団」をつく  
りましょう。

今日からみなさんは「人  
にやさしい学校、人にやさ  
しい心」を育てるために、  
在校生のみなさんと、一緒  
に取り組んでいきましょう。

保護者のみな様、私は目  
標として「人にやさしい生  
徒・人にやさしい住吉中学

校」づくりを目指し、積極的に取り組んでまいります。

そして、本校職員と一丸となって、学力の向上に努めてまいります。

しかしこれは、保護者のみな様のご協力なくしてはできません。

どうぞ、絶大なるご支援をお願いいたします。

教育は、林業に似ています。

一年で、花や実のなる農業

とは違い、一〇年先、二〇年先になるかは個人により違いがありますが、まっすぐ立派な木として成長することをお願い作業です。

学校・家庭・地域が一体となつて、子どもたちの心に「わがまま」「自分勝手」という横枝が生えてきたときは切り取り、堂々とした大木になるよう、ともに育てていきましょう。

よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが式  
辞といたします。

二〇一六・平成二八年

四月六日

大阪市立住吉中学校

校長 村瀬香織